

交通安全施設の機械保険業務仕様書

第1章 総 則

第1 業務名

交通安全施設の機械保険業務

第2 目的

本仕様書は、交通安全施設が第三者の不法行為により損害を生じた場合、その原形復旧の補償にかかる保険について必要な事項を定める。

第3 業務契約期間

令和8年4月14日午後4時から令和9年4月14日午後4時まで

第4 用語の定義

- 1 「発注者」とは、広島県警察本部長をいう。
- 2 「受注者」とは、当該業務契約の受注者又は業務責任者をいう。
- 3 「交通安全施設」とは、広島県公安委員会が道路における交通の規制をするために設置、管理する信号機又は道路標識等をいう。
- 4 「交通安全施設管理担当者」とは、発注者に代わり当該業務契約に関し、事務手続き全般を行う広島県警察本部交通部交通規制課員をいう。
- 5 「業務責任者」とは、業務を総合的に把握し、業務を円滑に実施するために交通安全施設管理担当者との連絡調整を行う者をいう。業務責任者は、業務担当者を兼務することができることとする。
- 6 「業務担当者」とは、業務責任者の指示により、保険金の支払い等当該業務を実施する者で、当該業務における受注者側の担当者をいう。

第5 保険業務の内容

1 保険適用対象

- (1) 保険適用対象となるのは、交通安全施設のうち次に示す設備で、内訳については、別紙1「交通安全施設資産内訳」のとおりとする。

ア 信号機

イ 中央線変移装置

ウ 交通情報板

エ テレビカメラ端末装置

オ 情報収集提供装置

カ 信号機電源付加装置

(2) 業務契約期間中に新設された前(1)に示す交通安全施設も含む。

2 保険の適用範囲

発注者は、交通安全施設が業務契約期間中に第三者の不法行為により損害を受けた場合において、当該交通安全施設の原形復旧に要する費用について、保険請求をする。

(1) 保険請求の対象となる、第三者の不法行為による損害とは、次のとおりとする。

ア 加害者が不明な場合

イ 発注者と加害者との間で示談が締結できない場合

なお、損害発生後、速やかに原形復旧の必要があり、示談を締結するいとまがない場合も、示談が締結できない場合とみなす。

(2) 原形復旧に要する費用とは、損害を受けた交通安全施設の原形復旧に要する費用で、残存物の取り片付け費用及び基礎工事に係るアスファルト等の取り壊し・復旧費用を含むものとする。

3 保険金支払限度額

契約期間中における、受注者が発注者に支払う保険金限度額は、3,000 万円とする。

第6 設備増減の通知義務

発注者は、業務契約期間中、交通安全施設新調達の価格が、別紙1「交通安全施設資産内訳」に示す合計額に対して5パーセント以上の増額又は減額を生じた場合を除き、受注者へ通知を要しないものとする。

第7 免責額

免責額は0円とする。

第2章 保険業務に関する事項

第1 保険請求手続き

- 1 交通安全施設管理担当者は、業務契約期間中に交通安全施設の損害が発生した場合は、受注者又は業務責任者に別紙2「交通安全施設事故報告書」(以下「事故報告書」という。)により通知する。
- 2 発注者は、保険請求時に原形復旧に要した費用を証する書面(写し)、事故報告書、復旧に関する見積書及び損害状況の写真を送付する。
- 3 受注者は、発注者の正当な保険請求により、支払う保険金額を速やかに確

定し、別紙3「保険金支払決定通知書」に則した書面で通知する。なお、保険金額の通知までに2か月以上の期間を要する場合は、その理由を発注者に書面で通知する。

- 4 発注者は、前記通知を受けた場合は、広島県会計規則第11条第2項の規定による納入通知書を作成し、受注者に送付する。
- 5 受注者は、前号の納入通知書によりその納期限までに保険金を支払うものとする。

第2 損害賠償の代位請求

受注者は、保険金の支払い後において、発注者に代わり保険の目的の損害に関する部分について損害賠償請求権を代位するものとする。

交通安全施設資産内訳

(単位:千円)

項 目		基 数	単 価	金 額	備 考
信号機	全感応	6	9,382	56,292	
	半感応	158	8,110	1,281,380	
	プログラム多段	3,613	5,604	20,247,252	定周期式
	押ボタン	265	3,878	1,027,670	
	計	4,042		22,612,594	
中央線変移装置		1	155,520	155,520	中央装置を除く
情報板通	マルチパターンⅡ	30	26,228	786,840	セミフリーパターン式、マルチパターン式
	小型文字情報板	23	4,498	103,454	
	計	53		890,294	
テレビカメラ端末装置		29	6,294	182,526	
情報収集提供装置		655	1,338	876,390	光ビーコン
信号機電源付加装置		104	3,788	393,952	信号機非常用電源装置
合 計				25,111,276	

※本表は、令和8年3月31日現在(推定値)の保険対象設備に設置単価(令和8年度)を乗じたものである。

※交通安全施設には県警柱も含む。

(受注者又は業務責任者) 様
TEL
FAX

発信者 広島県警察本部交通部
交通規制課管制保守係

TEL
FAX

交通安全施設事故報告書

契約 内 容	種目：機械	証券番号：	保険期間：	
	契約者住所		契約者名：	
事 故 内 容	整理番号		署 別	
	発生（発見）日時	令和 年 月 日 時 分頃		
	場所			
	被害 施設 状況	名 称	基（本）数	状 況
	原因			
加 害 者 ・ 登 録 番 号	判別	1 加害者不明	2 加害者判明（ただし弁済資力不明）	3 その他
	当事者丙	住 所 氏 名		登録番号： 電話
	丙の雇用主	都道府県 市 郡 区 町 村 会社名： 代表者： 電話		
措 置 状 況	応急復旧	未 済 ・ 済	月 日	施 工 会 社
	本復旧	未 済 ・ 済	月 日	
	工費・見積	未 済 ・ 済	月 日	

※ 交通安全施設資産内訳中、項目_____に該当

